

アンケート結果について

2023年1月

株式会社日本経営

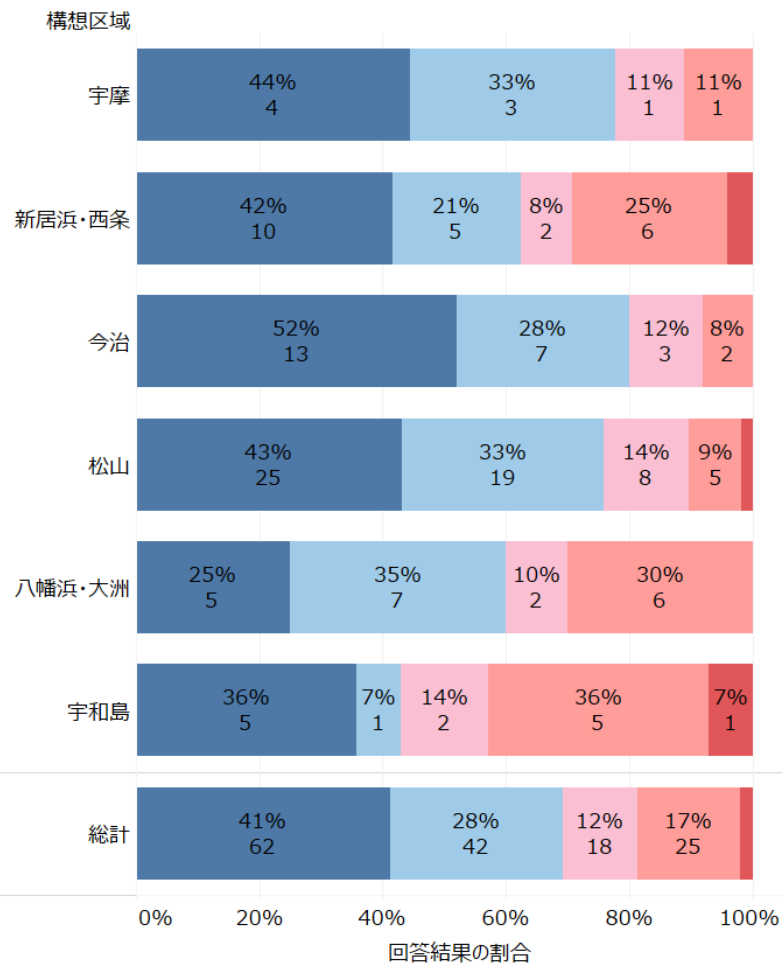
医療圏別の回答状況

<u>構想区域</u>	
宇摩	9
新居浜・西条	24
今治	25
松山	58
八幡浜・大洲	20
宇和島	14
総計	150

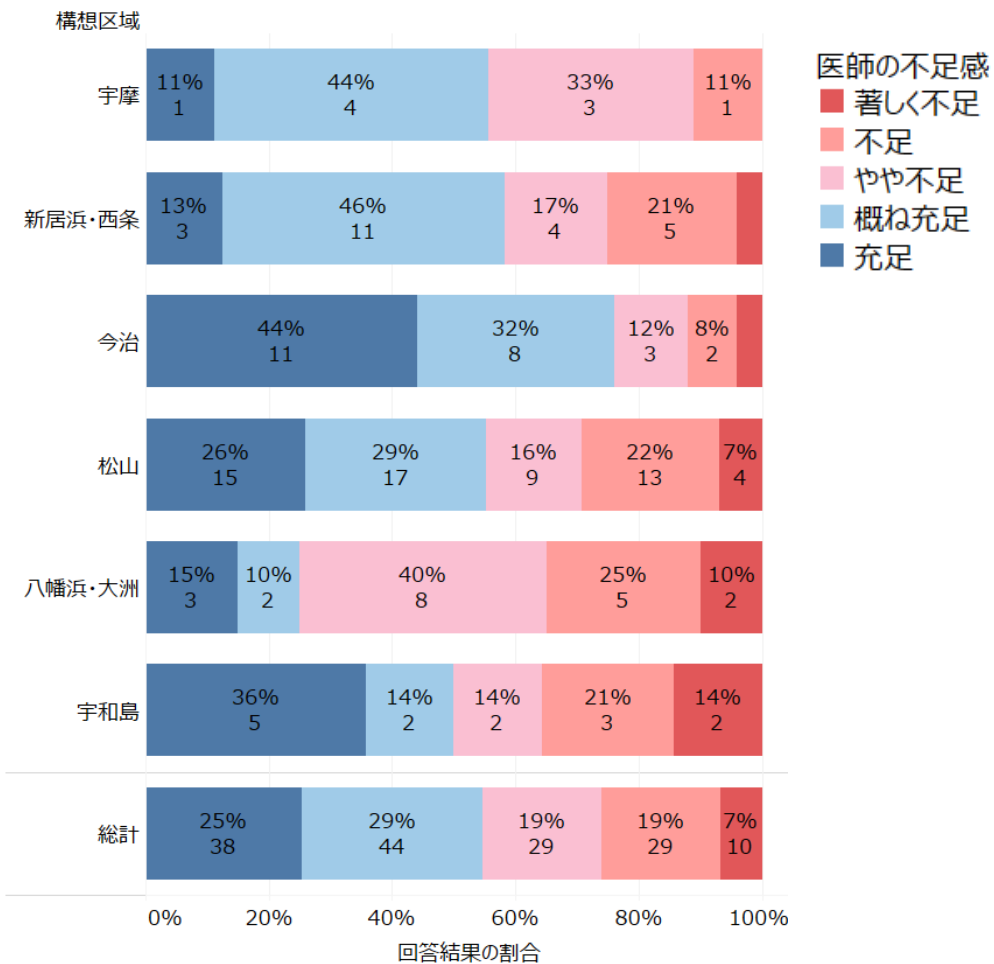
医師及び看護師の充足状況を入力してください。（Q7）

- 概ね充足以上と回答した病院の割合は、医師について69%、看護師について54%となった。
- 医療圏別では、宇和島圏域において医師不足を訴える病院が50%を超えている。
- なお、看護師は今治圏域を除くとおよそ半数の病院が不足を訴えており、八幡浜大洲圏域では危機的な状況である。

医師の不足感（率）



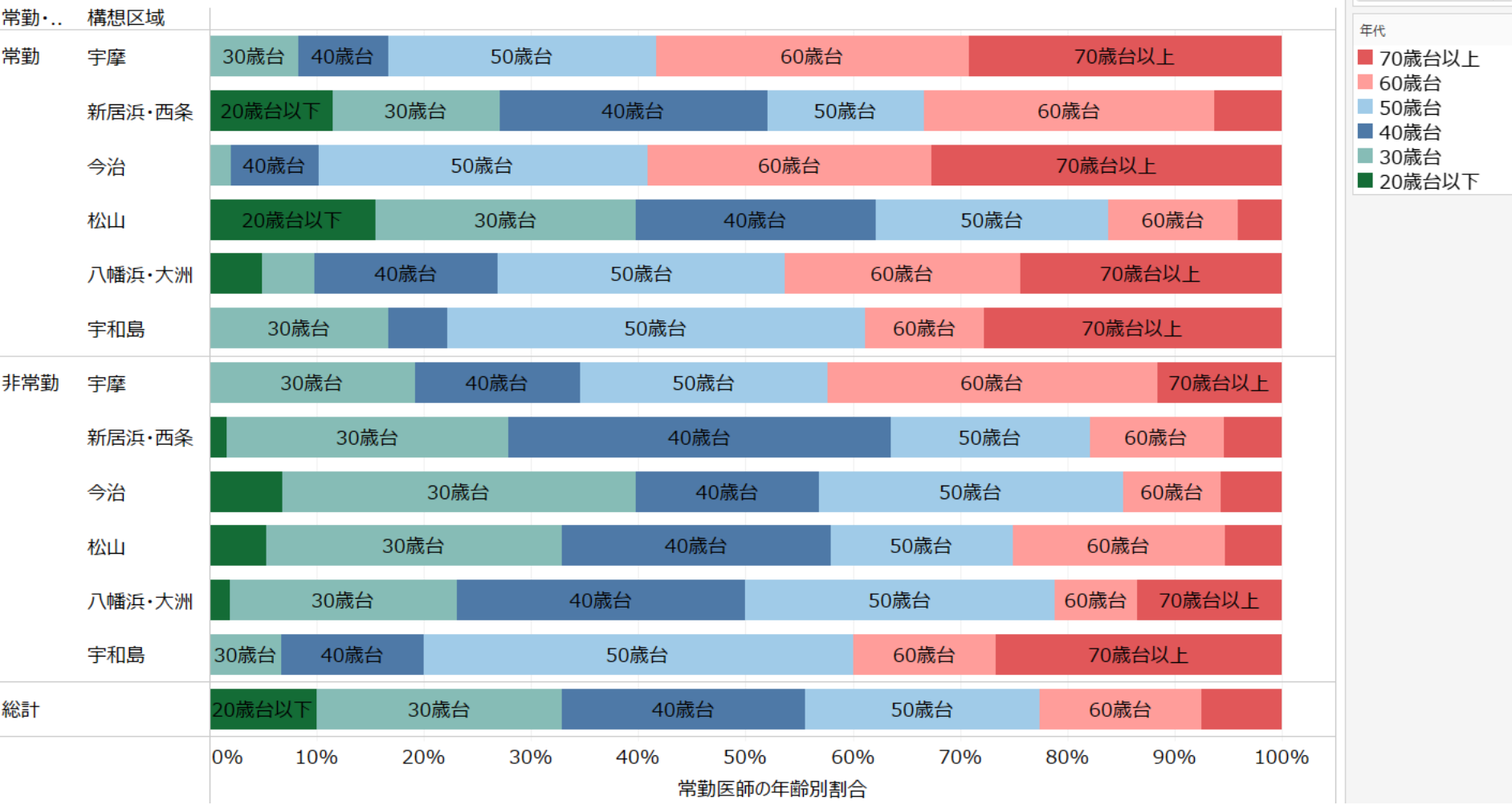
看護師の不足感（率）



常勤非常勤別・年代別の医師数

- 新居浜・西条圏域と松山圏域を除くと多くの地域では常勤医師のうち60歳以上の医師が半数となる。
- 特に宇摩圏域、今治圏域、八幡浜大洲圏域では60歳以上の常勤医師が多く、10年後の診療体制について不安が大きい。

病院別年代別：常勤医師数（率）

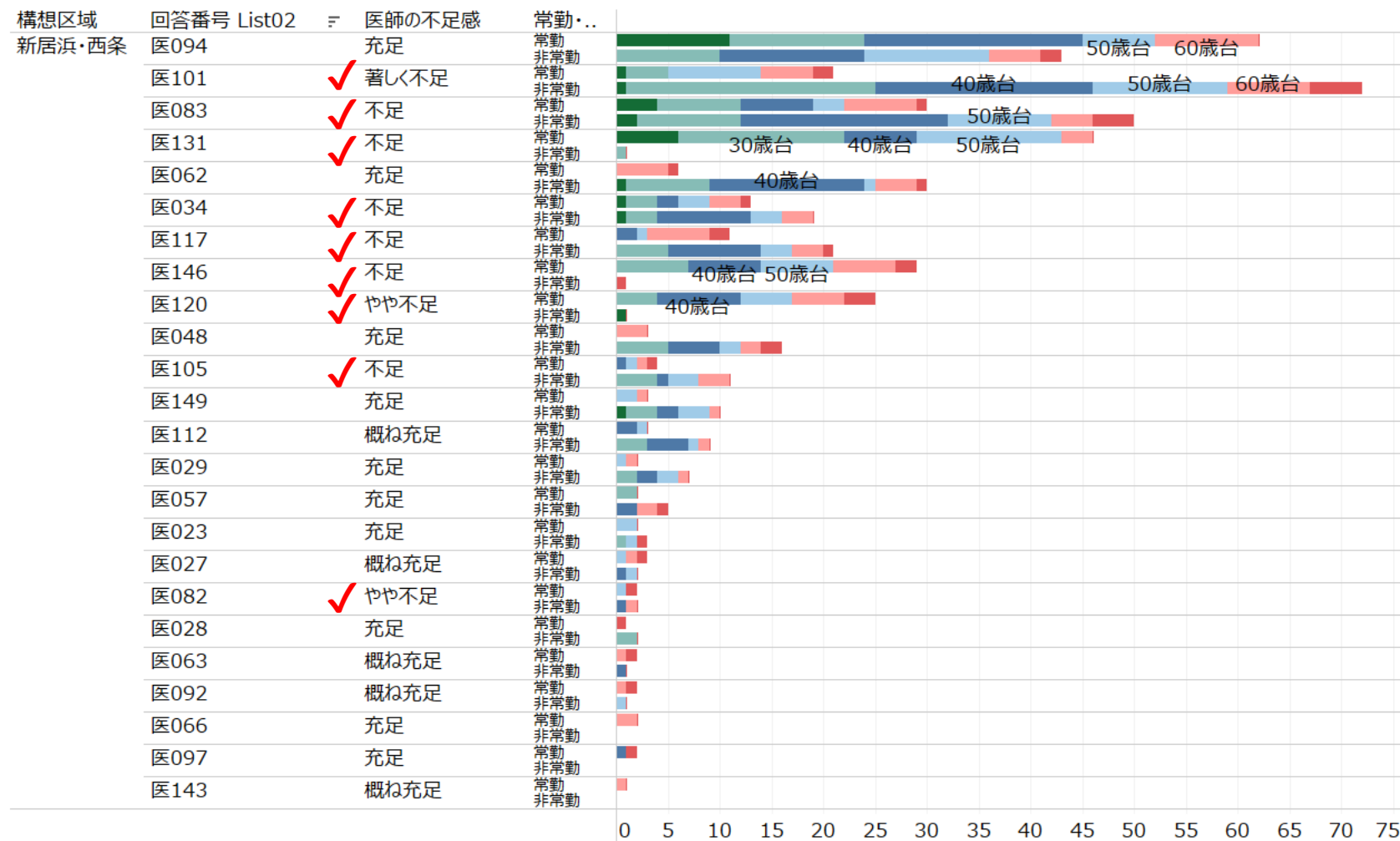


常勤非常勤別・年代別の医師数

新居浜・西条圏域

- 医師不足を訴える病院の数が非常に多い。
- 特にNo,101、No,083の病院は常勤医師が非常に少なく、非常勤医師にて医療体制を維持している様子が見える。

病院別年代別：常勤医師数



構想区域
新居浜・西条

常勤・非常勤
(すべて)

年代

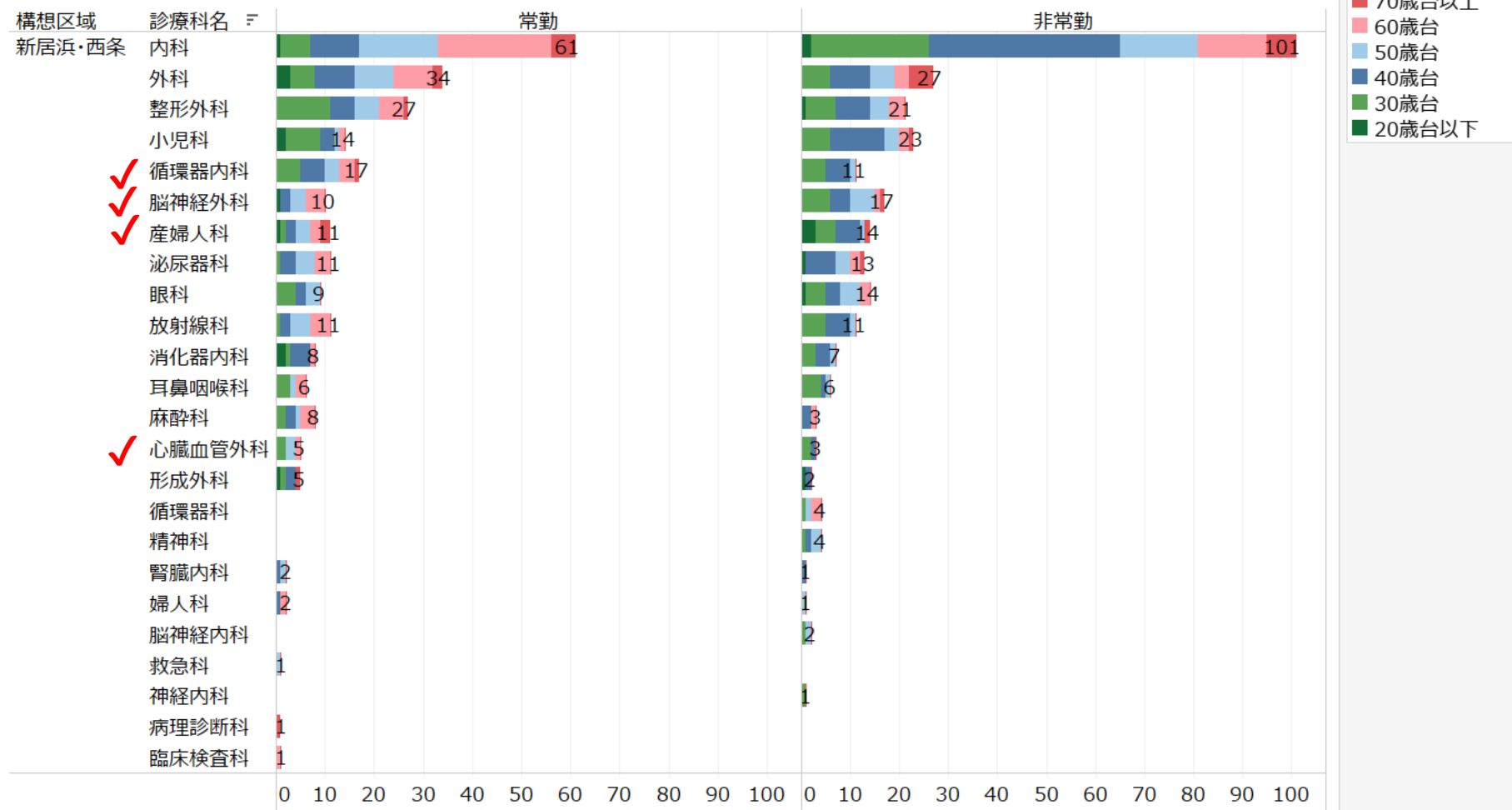
- 70歳台以上
- 60歳台
- 50歳台
- 40歳台
- 30歳台
- 20歳台以下

診療科別・常勤非常勤別・年代別の医師数

新居浜・西条圏域

- 医療圏全体で見た場合は、潤沢ではないが循環器内科・心臓血管外科、脳神経外科、産婦人科等、24時間365日体制を要する診療科の医師数は一定数存在する。但し、先の医師の充足感のアンケート結果のとおり、これら医師が分散することによる医師不足が生じている可能性がある。

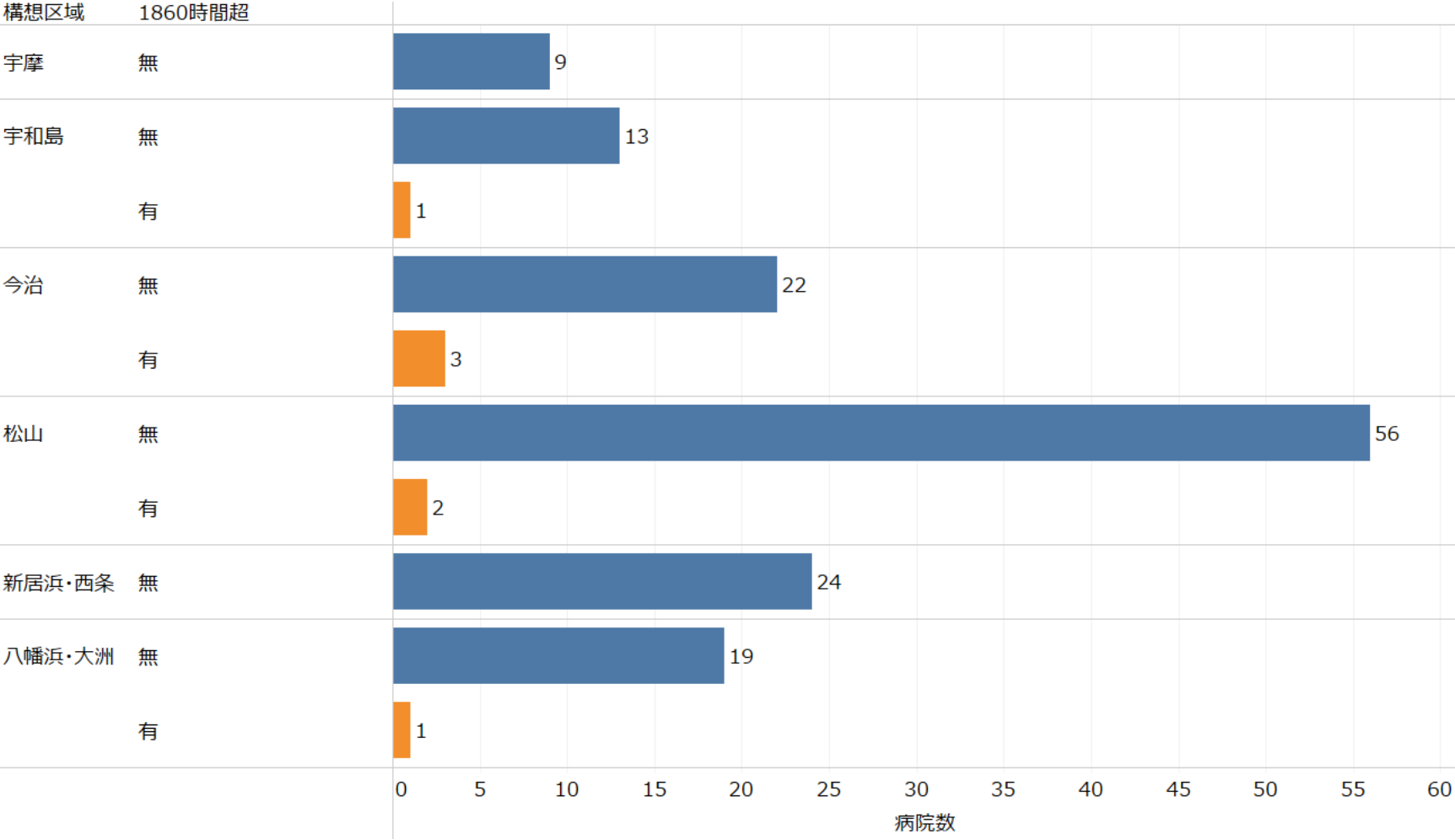
圏域別科別年代別の医師数



医師の時間外労働の状況について

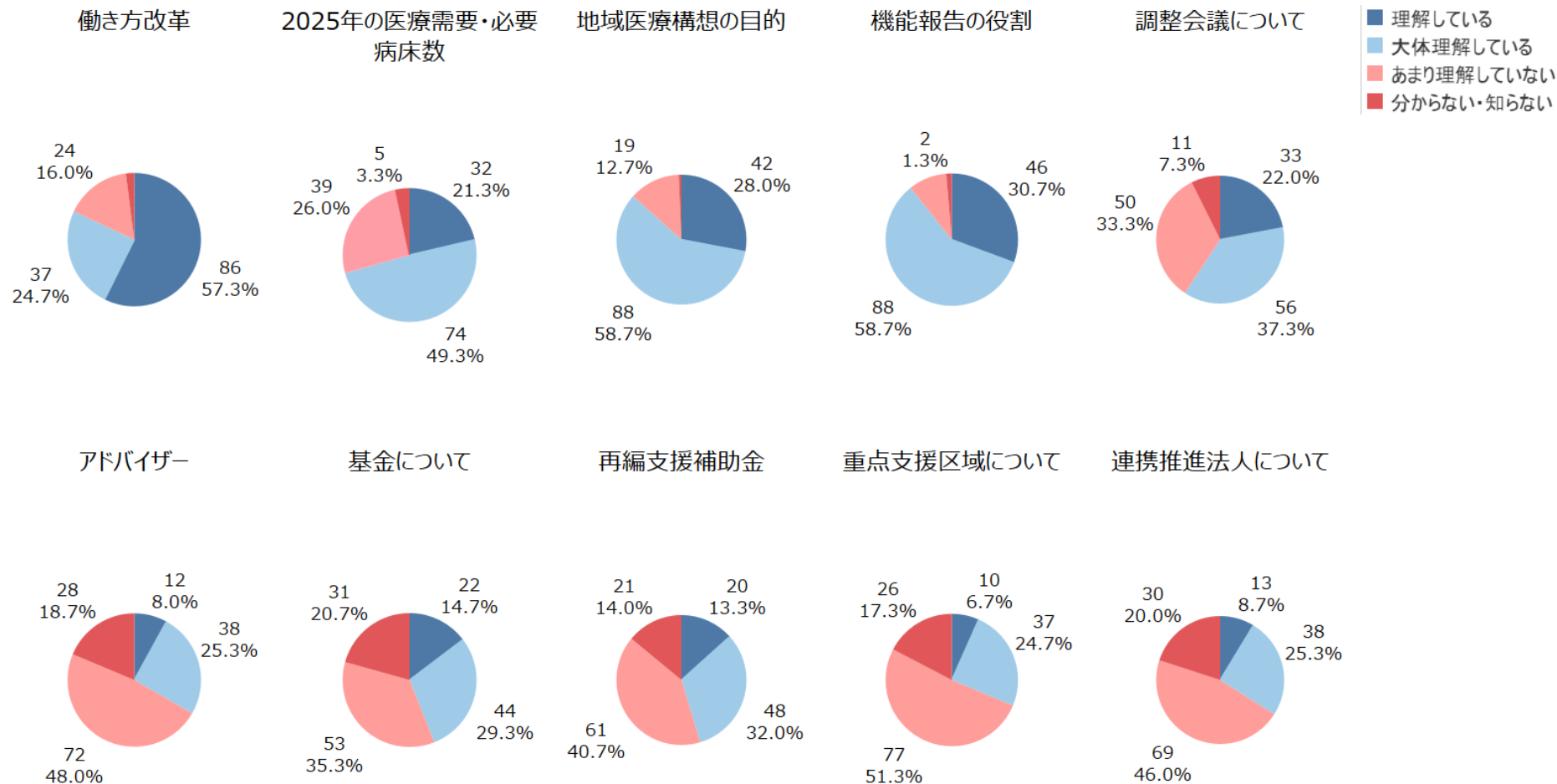
- 愛媛県全体にて1860時間以上の勤務が確認される病院の数は7病院。
- 中でも今治医療圏に3病院あり、医師不足のアンケート結果と合わせて早急な対応が必要な圏域となっている。

医師の時間外



各種制度への理解度

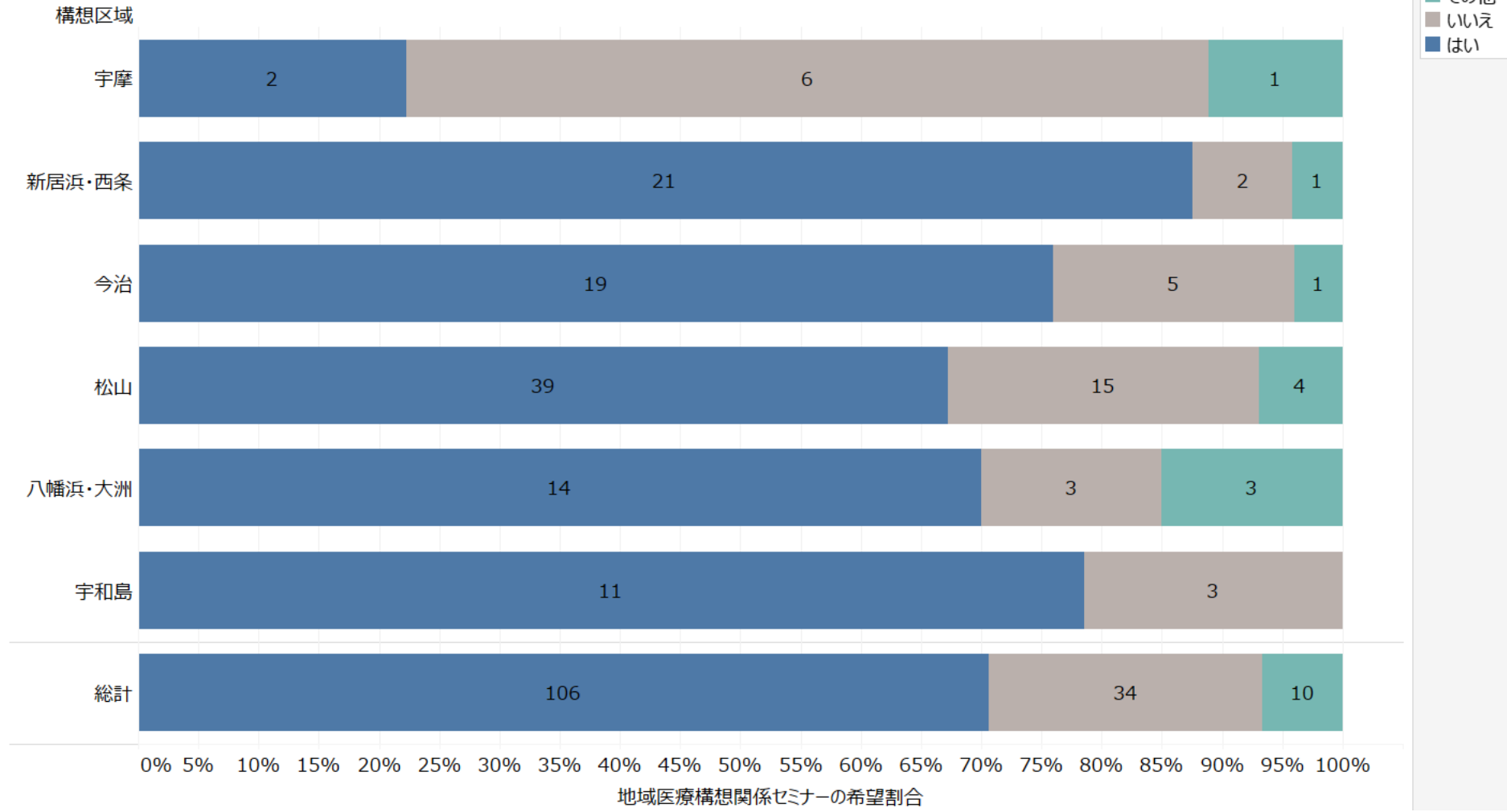
- 各制度への理解では、地域医療構想の目的や制度の概観についての理解度は高いが、調整会議の位置づけやアドバイザーの役割、再編支援に係る政策メニューについての理解度が低い状態であった。
- 今後、具体論に踏み込んだ議題の提供や支援が必要になるとと思われる。



地域医療構想に係るセミナー等の希望状況について

- 愛媛県全体では7割の病院が地域医療構想に関するセミナーの開催を希望。
- 前項の制度理解度や地域の状況にあわせた定期的な研修開催が望ましいと思われる。

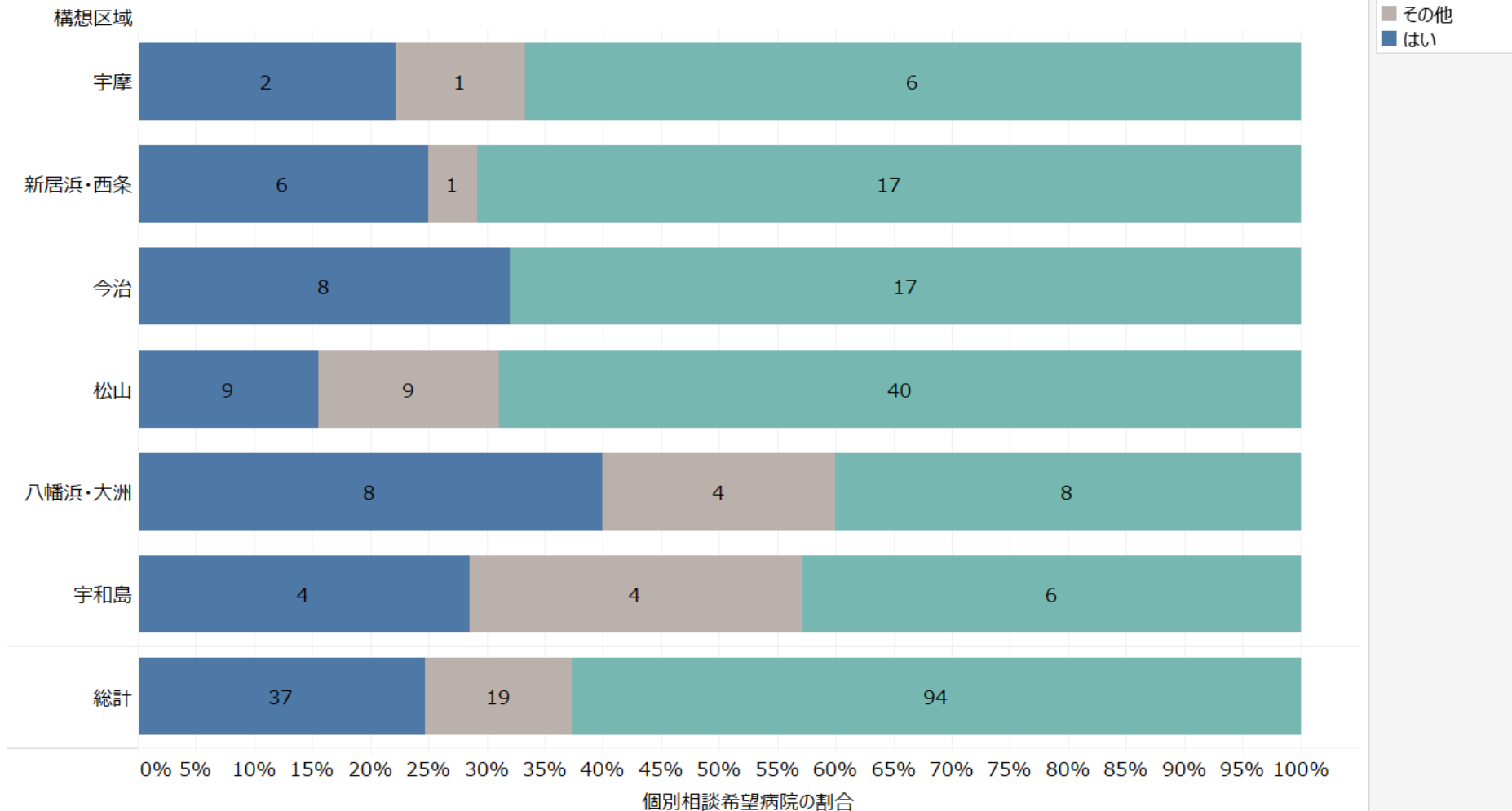
地域医療構想（地域医療の現状や将来見通し等）に係るセミナーや研修等があれば、参加したいと思いますか。



個別課題に対する県や専門家の個別相談会の開催希望について

- 個別の課題があり、相談を希望する医療機関が25%（37病院）あり、それぞれ非常に個性が強くと、かつ、地域の実情に根差した課題であるため、県や専門家派遣による相談の実施を早期に開催する必要性が伺えた。

個別相談希望



現在と将来の課題について（自由記載）

※非常に多くのご意見を記載頂きました。当資料では、一部を意識により掲載します。

- 先の調整会議資料では、オープンデータによりDPCデータを提出する病院の実績のみが分析されていたが、それら以外の病院や診療所、外来についても精緻な分析を行い、地域の実態をより正確に可視化と共有すべき。あわせて一般市民にも理解される形で公表してほしい。
- このままでは急性期医療や救急輪番制度を維持することが困難。医師や看護師の集約は必要だと考える。病院の統廃合の議論を踏み込んで行わなくては、医療圏そのものが崩壊するのではと危惧している。
- 医師及び看護師不足への不安が大きく、マンパワー不足という条件下では病院の方向性を考えるにも制約がある。地域の役割分担や連携をセットで考えなければ、人手不足も病院の方向性を思案することも進められない。これらの課題については、市や県が積極的に主導をしてほしい。
- 病院の役割を医療圏毎で評価することに無理がある。県全体を統括する組織作りと、県全体の医療の供給に資する病院の評価を公正に行うべきである。
- 在宅医療を行う医療機関や介護施設との連携についてもより力を入れて推進すべき。あわせて、ICTの導入により地域の医療機関や介護施設同士が円滑にコミュニケーションが行える体制を整備し、連携が捗るようにして頂きたい。
- 現医師の高齢化による事業承継に関する課題がある（意見多数）

